Community Medicine
── 地域医療の架け橋 ──

つばさ

2011年７月発行

第 28 号

社会保険神戸中央病院

〒651-1145
神戸市北区惣山町２丁目１－１
TEL　０７８－５９４－２２１１
FAX　０７８－５９４－２２４４
http://kobe-hosp.jp/

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

栄養サポートチーム

食べることは生きていくうえで必須のものであるとともに、“おいしい”と感じることは人間の楽しみのひとつでもあります。また、“医食同源”という言葉があるように、バランスのとれた食事は健康につながるものでもあります。そして栄養をしっかり摂取することで体力・筋力の回復を促したり、床ずれなどの傷の治りを早めたりすることが期待できます。しかし様々な病気・理由が原因となり、食欲がない、ご飯が食べられないなどでお困りの患者さまもたくさんいらっしゃいます。そうして栄養状態が悪化し、病気や傷の治りに時間がかかってしまい、入院期間が延びてしまう一因になってしまうこともあります。

こういった患者さまの栄養状態を改善するべく、当院では医師をリーダーとして、患者さまの状態を把握している看護師、飲み薬・点滴の管理をする薬剤師、食事の必要量を評価・提供する栄養士、食事を飲みこむ訓練をする言語聴覚士、患者さまの検査値をチェックする臨床検査技師など、多職種からなる栄養サポートチームが入院患者さまを対象に活動しております。患者さまとご家族さまのご希望を伺いながら、それぞれの職種の専門性を活かし、患者さまにとって最適な栄養療法を考え、患者さまの栄養状態を改善し生活の質を高めるべく、きめ細やかな支援を行っております。

（栄養サポートチーム・薬剤師　西海　一生）

新任医師紹介

加藤（かとう）　勘明（かんめい）：整形外科
社会保険京都病院から赴任しました。今後共どうぞよろしくお願いいたします。

武藤（むとう）　達士（たつし）：脳神経外科
７月より秋田県立脳血管研究センターより着任しました。不慣れな点も多くあるとは思いますが、地域の方々のお役の立てるよう努力していきますのでよろしくお願いします。

呉本（くれもと）　年弘（としひろ）：耳鼻いんこう科
京都府立医科大学附属病院から耳鼻いんこう科専攻医として着任しました。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

三宮（さんのみや）　奈々（なな）：放射線科
７月から赴任しております。京都府立医科大学病院から来ました。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

退任医師のお知らせ

大塚　悟朗：整形外科
伊藤　哲哉：放射線科
大村　　学：耳鼻いんこう科

近隣医療機関のご紹介

神戸ゆうゆうの里診療所

URL：http://www.yuyunosato.orjp/place/kobe/

〒651－1133
神戸市北区鳴子
３丁目１－２

電　話　078－594－9002

診療科目：総合診療科、内科、
循環器科、消化器科、
精神科
診療時間：午前９時15分～12時、
午後３時～４時30分
休 診 日：土・日・祝
理学療法科、レントゲン、
病床（18）

所長 吉谷　信 先生
（神戸大医卒）

当院は1983年に開設された有料老人ホーム神戸ゆうゆうの里に附設された有床診療所です。現在、常勤医師１名、非常勤医師３名、理学療法士１名、看護師15名、夜間当直医師数名が勤務しています。施設には約410名の入居者と職員240名がいますが、診療所は近隣に在住の方にも門戸を開放しております。総合診療科の外来診療の他に、消化器（毎週）循環器（隔週）精神科（毎週）を行なっています。昨年７月の統計では診療日の受診者数平均43名で急性期患者の割合は56％でした。2010年の外部病院への紹介数（情報提供書ベース）は303件で、うち社会保険神戸中央病院への紹介は135件（実数は100名位か）で最多の患者を診察していただきました。

当院の患者の平均は85歳を超えており、高齢化しております。高齢者にとって近隣に信頼できる大きな病院があることは非常に大きな心の支えになっています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

社会保険病院グループの協力のもと当院から、医師１名、薬剤師１名、看護師２名のチームで、平成23年４月11日～18日の期間、宮城県南三陸町で医療支援に携わりました。

医療支援を行った地域は津波被害の直接的な影響は少ない所でしたが、それでも道路の地割れや家屋の半壊などがみられ、支援期間中も震度４前後の余震が頻回におこっていました。大震災発生からおよそ１ヶ月経過していましたが、町内の主な医療機関は壊滅的な被害を受けてほとんど機能しておらず、電気や水道といったライフラインの断絶も持続していました。また、ガソリンが不足し通院のための移動手段もままならない状況でした。

主な活動内容は集会所への巡回診療や投薬、往診などです。災害医療とは救命救急などの急性期の医療というイメージをもっていましたが、被災地でのニーズは時期により変化します。主治医に診てもらい検査をして、いつもの薬を飲むことが出来ない被災者の近くに行き、出来る限りの対応をすることも災害医療であると感じました。

また、兵庫県の看護協会や個人的なボランティアとしても、当院の数名の看護師や医師が福島県や宮城県に赴いてそれぞれが活動をしました。

復興への道のりは平坦ではないと思いますが、今できることを行っていくことで一歩ずつでも前進できると信じています。

みなさまからお預かりしました募金（金額 380,305円）は社団法人全国社会保険協会連合会を通じて被災地の復興に役立てていただくことになりました。ご協力ありがとうございました。

外来改修工事のお知らせ

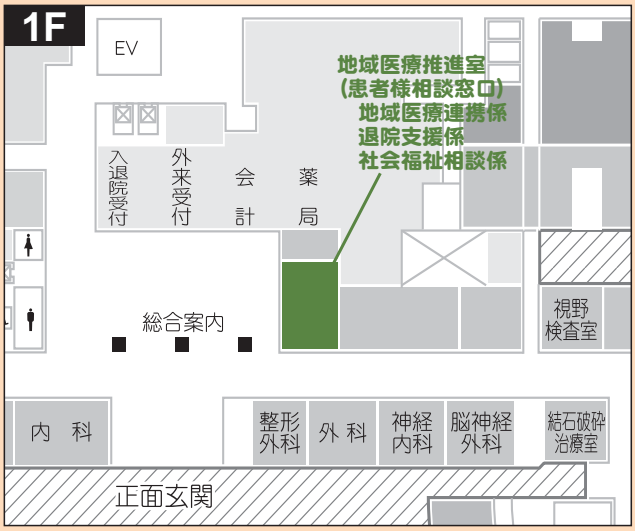
下記の期間で外来部門（１階、２階）各所の改修工事を行ないました。工事期間中、大変ご迷惑をおかけいたしました。みなさま、ご協力ありがとうございました。

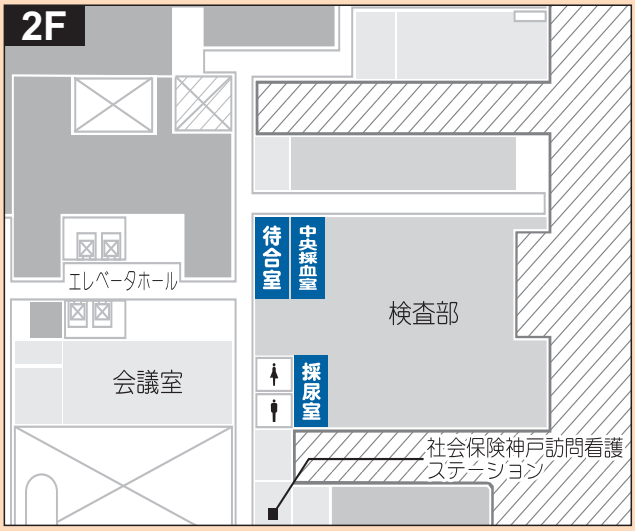
- **７月11日（月）より、中央採血室ならびに採尿室が２階検査室内に移転いたしましたので、ご案内いたします。**

  検尿・検便の受付も中央採血室でいたします。
  名前ラベル付きの尿コップをお渡しします。

- **７月25日（月）より、地域医療推進室（患者様相談窓口）が、１階外来ホール、旧中央採血室跡に移転いたしました。**

〈改修後見取り図〉





次回予告

第24回　公開医学講座

「耳鼻いんこう科であつかう腫瘍について」

～頭頸部外科ってしってますか～

講　師：耳鼻いんこう科　部長　四ノ宮　隆
日　時：平成23年８月６日（土）　15時～
場　所：社会保険神戸中央病院　２階会議室
受講料：無料（予約不要）　座席数100席程度

※お問合せは庶務課　足立まで
TEL　078－594－2605

保険証提示のお願い

患者様各位

この度、当院ではより良い医療の提供を目指し、平成23年９月１日（木）より電子カルテ運用を開始予定です。

電子カルテ運用には、皆様からの**保険証の提示が必須**となります。
下記の時期には必ず**保険証の提出**をお願い致します。

- 初診日
- 毎月初めの受診日
- 保険証の切り替え時
- 負担割合の変更があった場合

病院長

整形外科外来からのお知らせ

火曜日・木曜日は**予約診のみ**となります。

当院整形外科医師数の減少に伴い、現行の診療体制を維持することが困難になっています。救急対応や手術治療など、北区の中核病院としての役割を十分に果たすために、整形外科外来診療日を変更させていただきます。火・木曜日は予約診のみとなります。

ただし、診療所からの予約紹介患者さまは引き続き随時受付けて参ります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

メディカルライン

今まで、当院が今後どうなっていくのか先が見えない状況で、地域住民等の不安を煽り、風評被害となって、色々な面で困難をきたしておりました。将来に向けて地域の皆様に信頼される病院として、診療機能を充実し、安全で質の高い医療を提供し続けるためには、公的かつグループとして安定的な運営主体の確立が望ましいと訴えてきました。

第177回通常国会に「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（ＲＦＯ）法の一部を改正する」法律案が提出され、６月10日に衆議院で可決、６月17日に参議院で可決成立しました。概要は、ＲＦＯを年金福祉施設等の整理合理化を目的とした組織から、病院等の運営等を目的とした組織に改組し、ＲＦＯの名称を「独立行政法人地域医療機能推進機構」とする。

予定では、公布の日（平成23年６月24日）から起算して３年を超えない範囲内において政令で定める日から施行されることになっていますが、出来る限り早い時期に、独立行政法人地域医療機能推進機構の一病院として、公的病院として、地域に密着した病院としてスタートしたいと考えています。

当院は、神戸市北区の基幹病院として、地域の中での役割を果たし、患者に選ばれる病院、職員に選ばれる病院づくりを進めてまいります。

事務局長　小西　憲次

■ 統 計 資 料 ■

4月1日現在	21年度	22年度	4月1日現在	21年度	22年度
常勤医師数	65人	63人	ＭＲＩ	7,532件	7,376件
常勤看護師数	357人	346人	ＣＴ	14,008件	15,135件
その他常勤職員数	202人	191人	アンギオ	593件	617件
診療実日数	242日	243日	リニアック	10,756門	11,998門
入院患者延数	99,223人	100,976人	心エコー	3,668件	3,758件
外来患者延数	197,524人	185,999人	腹部エコー	2,000件	2,184件
平均在院日数	15.5日	15.8日	頚動脈エコー	2,121件	2,460件
病床利用率	67.6％	73.6％	下肢静脈エコー	385件	547件
紹介率	50.0％	48.7％	内視鏡 上部	4,453件	5,029件
逆紹介率	51.5％	60.2％	内視鏡 下部	1,639件	1,815件
患者1人1日診療額 入院	50,676円	52,218円	理学療法	38,891単位	35,773単位
患者1人1日診療額 外来	13,284円	14,205円	作業療法	19,508単位	19,671単位
救急車搬入件数	1,954件	2,302件	言語聴覚療法	10,928単位	10,576単位
ＩＣＵ入院患者数	1,143人	1,179人	給食延べ食数	241,995食	248,980食
手術件数	1,948件	1,630件	栄養指導（集団含む）	1,543件	1,491件
死亡件数	379件	448件	訪問看護延べ数	3,882件	3,846件
薬剤管理指導	12,531件	13,072件	ケアプラン作成数	636件	673件

第18回『北神ストロークカンファレンス』のご案内

この度、下記の要領にて北神ストロークカンファレンスを開催いたします。当院では、地域の病院・診療所の医師、コメディカルの方々を主な対象として脳卒中についての勉強会を行なっています。

脳卒中急性期治療後の大きな課題として、後遺症をどう治療・ケアするかということがあります。後遺症としては四肢の麻痺、高次機能障害とならんで、嚥下障害がＡＤＬを改善させる過程で大きな阻害因子となることは周知のとおりです。

この度、脳卒中後の嚥下障害について、京都第一赤十字病院　リハビリテーション部・神経内科　副部長　巨島（オオシマ）文子先生に豊富な治療経験をもとに最新の知見についてお話しいただきます。

先生方におかれましては、誠にご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご来聴ください。

日　時：平成23年７月28日（木）　19：00～21：00

場　所：社会保険神戸中央病院　２階会議室

【一般講演】　座長：社会保険神戸中央病院　脳神経外科医長　松田　和也

①「脳血管障害に対する血管内治療と直達術のコンビネーション治療」　脳神経外科　橋村　直樹

②「脳梗塞再発予防のための生活習慣病のコントロール」　神経内科医長　小別所　博

【特別講演】　座長：社会保険神戸中央病院　脳神経外科部長　松本　圭吾

「脳卒中の嚥下障害について」

京都第一赤十字病院　リハビリテーション部・神経内科　副部長　巨島（オオシマ）　文子　先生

※当日は軽食をご用意させて頂いております。

肝疾患専門医療機関選定

兵庫県肝疾患診療連携拠点病院連絡協議会において、平成23年４月１日付で、当院は肝疾患協力医療機関から神戸市北区で唯一の「肝疾患専門医療機関」に格上げ、選定されました。

内視鏡診療、IVR 治療だけでなく消化器の一分野である肝疾患（肝癌、肝硬変、肝炎、NASH 等）にも取り組んで参ります。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

消化器科　主任部長　安田　光徳